

おのみずべ がっこうくかんりょう かんが かい 小野水辺の楽校空間利用を考える会

活動目的

水辺の楽校プロジェクト（文部科学省・国土交通省・環境省連携）により小野水辺の楽校が建設されました。その空間利用を考えるために会を立ち上げたところです。多くの子どもたちが、水辺の楽校でたくさんの楽しい思い出を持って大人になっていくことを目標としています。

活動内容

- ・ 鯉流し（佐波川に鯉のぼりを流す）
- ・ 水辺の楽校の維持管理（草刈りなど）
- ・ 魚のつかみ取り体験
- ・ 水辺の楽校でおこなう行事の誘致・調整
- ・ 水生生物調査

こんな協働に取り組んでいます！

◆課題・目標

川で遊んだことのない子どもが増えています。確かに川は危険ですが、楽しい所もあります。その楽しさを伝えたい。また、利用する人が維持管理をする仕組みを作っていく。

◆取組み内容

ゴールデンウィーク中、佐波川に「鯉流し」をおこなっています。最初はメンバーでおこなっていましたが、最近ではスポーツ少年団も手伝ってくれます。

夏休みには小学校・公民館と連携して「佐波川探検隊」と称して、魚のつかみ取り体験、水生生物観察を実施しています。魚のつかみ取り体験では、地元で昔から魚取りをしているおじさんを先生に、水生生物観察では国土交通省の職員の協力を得ておこなっています。

維持管理については、夏休み前ではスポーツ少年団と、保育園・小学校でおこなわれる持久走大会ではPTAと連携して草刈り・清掃作業をおこなっています。

水辺の楽校で出来る行事の誘致もサマーフェスタ（地元夏祭り）での花火の打ち上げやフットサル大会、野球大会での遠投など増えています。この活動の広がりが、人との出会いを生み、お互いの助け合いを生み、ネットワークを形成し地域活性化につながっていくと感じています。



▲佐波川探検隊の様子

小野水辺の楽校空間利用を考える会

代表 石光 徹

住 所 〒747-0106 防府市奈美 270

T E L 090-2095-1432

E-Mail ishim2@c-able.ne.jp

担当者 石光 徹